

終業式 校長講話

今日は1学期の終業式です。6月15日の「普段通りの授業が再開された日」から考えるといつもの半分の1学期ですが、4月1日の「今年度のはじまりの日」から考えるといつもより3週間ほど長い1学期でした。

振り返ってみると----みなさん、どうですか。いろいろなことを頑張れた1学期でしたか。それとも、もっといろいろなことを頑張れたはずだと感じる1学期だったでしょうか。それぞれちがった気持ちだと思いますが、校長先生は、はっきりと大きな声で、全校児童のみなさんに、そして、先生たちや職員のみなさんにも言っておきたいと思います。

「みんなよく頑張りました」「みんなで胸をはろう」

友だちに嫌なことをしてしまった人がいたり、なかなか勉強をする気にならなかった人がいたり、そりゃあ、2学期に直すべきことはいろいろあると思います。だけど、日本中がコロナの影響で不安になったり、気持ちがくじけそうになったりするなか、教室にそろって授業で勉強し、こうして終業式までたどり着いた。もうそれだけで胸をはっていいと思います。みんなほんとうによく頑張りました。

明日からは待ちに待った夏休みです。日数は17日間と少ないけれど、それでも17日間も休みがあります。さあ、何をしましょうか。のんびりと休むことも大切です。ふだんできないことにもチャレンジしてほしいです。素敵な思い出もつくってほしいです。みなさんには「好きだ」と言えることはありますか。「好きだから夢中になれた」---そんな時間をたくさんすごせればいいですね。

健康に気をつけて。安全に気をつけて。

8月25日の朝、正門で元気にみなさんとあいさつができるのを楽しみにしています。